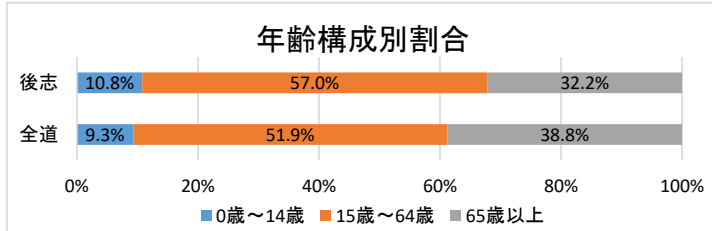


# 12 後志の保健・医療・福祉

HEALTH・MEDICAL TREATMENT・WELFARE

高齢化率（65歳以上人口の割合）は38.8%であり、全道平均（32.2%）を上回っている。管内には、21の病院と152診療所がある（令和6年1月1日現在）が、救急患者の夜間・休日対応や産婦人科標榜医療機関の充実など、医療体制の確保が課題となっている。



	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
後志	19.7%	23.4%	27.4%	30.9%	35.5%	38.8%
全道	14.8%	18.2%	21.4%	24.7%	29.1%	32.2%
全国	14.5%	17.1%	19.7%	22.8%	26.6%	28.6%

平成7年～令和2年国勢調査

## 医療機能

- ・ 地域センター病院及びへき地医療拠点病院として、倶知安厚生病院が指定。
- ・ 災害拠点病院として倶知安厚生病院及び小樽市立病院が指定。
- ・ 地域がん診療病院として小樽市立病院が指定。
- ・ 重症救急患者の休日・夜間対応は、病院群輪番制参加病院9施設及びその他の救急告示医療機関3施設が実施しており、休日・夜間の小児重症救急患者は小樽協会病院が対応。

## みんなで支える安心子育て・健やか子育て

### 15歳未満の人口の減少（後志管内、住民基本台帳人口）

<平成20年>

<平成30年>

15歳未満人口 26,601人  
総人口比 11.0%

15歳未満人口 20,497人  
総人口比 9.6%

※ このように少子化が進む状況の中、社会全体で出産や子育てを支援する体制を整えていくことが重要。

### 少子化対策関連事業

- ・ 第四期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」（令和2年3月策定）に基づき、「子どもや子育てをみんなで応援する」取組みのほか、「結婚・出産」、「子育て」、「子育て・自立」のライフステージごとの切れ目のない支援を実施。

### 思春期保健対策事業

- ・ 町村や学校及び医療機関など関係機関の連携強化を図り、思春期の子どもの自己決定能力を育成するため、健康教育（思春期教室等）などを実施。

## 一人ひとりが主役ー健康づくりー

### 生活習慣病の発症と重症化予防

- ・ 「後志圏域健康づくり事業行動計画」（平成30年9月策定）に基づき、市町村等関係機関と連携し各種の健康づくり対策を実施。
- ・ 適切な食事や適度な運動、たばこ、歯・口腔に関する知識の普及啓発の促進と環境整備の取り組みを実施。

### 医療連携体制推進事業

- ・ 脳卒中、急性心筋梗塞、がん、糖尿病の医療連携促進と発症、重症化予防を図るため、関係者による情報共有や関連する講演会等を実施。

### 地域・職域連携推進事業

- ・ 地域保健と職域保健の関係機関が連携・協働し、町村とともに事業所の健康づくりを支援。

## みんなが支える明るく活気に満ちた高齢社会づくり

- ・ 令和6年度からの第9期「北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」は、第8期計画を踏まえ、中長期的な視点に立ち、総人口・現役世代人口が減少する中で、地域によって高齢化の状況や介護需要が異なることを想定しつつ、基本的目標や基本方針を掲げ、地域包括ケアシステムの深化・推進を図る計画とする。
- ・ 基本的目標としては、（1）地域包括ケアシステム構築のための地域づくりと地域ケア会議の推進、（2）生活支援体制整備の推進、（3）自立支援、介護予防・重度化防止の推進（4）医療・介護連携の充実、（5）認知症施策の推進、（6）介護人材の養成・確保、（7）安全・安心な暮らしの確保、（8）介護保険制度の適切な運営、の8つを位置付ける。